講座№１6106（改）

こころの臨床・専門講座6

**さまざまな面接と支援に家族療法を活かすには**

－ 個人・親子・父母面接をどうすすめるか －

**＊本講座は臨床心理士資格更新のための研修ワークショップとして要件が満たされた場合、日本臨床心理士**

**資格認定協会へ申請予定です。　承認された場合はホームページに掲載いたします。**

**期　　日：2016年10月29日（土）～ 30日（日）**

**受講対象：心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、 その他家族療法に興味のある方**

**定　　員：80名**（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

**受 講 料：１2,０００円**（税込み）　※昼食は各自お手配ください

**主　　催：公益財団法人　明治安田こころの健康財団　　0３-３９８６-７０２１**

**会　　場：明治安田こころの健康財団　講義室**　　※詳細地図は受講証に添付いたします

**東京都豊島区高田３-１９-１０**

ＪＲ山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約７分

いま、未来を背負う子どもたちに様々な形で危機が訪れています。ということは、子どもたちの生育に直接かかわっている親や教育者たちも危機に直面していることを意味します。相談機関や医療機関では、不登校、ひきこもり、暴力、いじめ、非行などの深刻な問題に追い込まれている子どもたちと、育児不安、児童虐待、中高年のうつ、DV、離婚や再婚などの問題に直面している親や夫婦に接する機会が多くなりました。

今や、私たちは誰もが、一人ひとりの自律性だけでなく、親と子ども、父親と母親、子ども同士、大人同士の関係性を強め、共に物事に取り組み、生きていくことが課題になっています。

本講座では、個人、親子、父母、家族全員など、関係性の構築に有効な知恵を積み上げてきた家族療法の考え方を紹介し、心理臨床職はもちろん、医師、看護師、保育士、教師、家裁調査官、ケースワーカー、法律家などの専門家が協働して、支援をする道を探りたいと思います。

**【企画講師　　ＩＰＩ統合的心理療法研究所 顧問　 平木　典子】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日程 | 時　 間 | テ　　ー　　マ | 講 師（敬称略） |
| １０  月  ２９  日  （土） | 10:00～12:30 | 個人面接に家族（関係性）の理解を  活かす | 山梨大学大学院教育学研究科  教授　　　　　　　　　　　藤田　博康 |
| *12:30～13:30* | *昼　　 食　（各自でおとりください）* | |
| 13:30～16:00 | 夫婦（父母）面接における関係性の  理解と活用 | 明治学院大学心理学部心理学科  教授　　　　　　　　　　　野末　武義 |
| 16:15～17:00 | 受講者と講師との対話 | 出講講師　　　　　　　　藤田　博康  野末　武義 |
| １０  月  ３０  日  （日） | 9:30～12:00 | 母子（親子）並行面接に関係性の  理解を活かす | 日本女子大学カウンセリングセンター  准教授　　　　　　　　　 北島　歩美 |
| *12:00～13:00* | *昼　　 食　（各自でおとりください）* | |
| 13:00～15:30 | 家族合同面接における関係性の理解 | ＩＰＩ統合的心理療法研究所  顧問　　　　　　　　　　　平木　典子 |
| 15:45～16:30 | 受講者と講師との対話 | 出講講師 北島　歩美  平木　典子 |

**【*プログラム* 】**

**※時間割・テーマ等は、多少変更となる場合があります。その際はご了承願います。**